2065FTPEX(J)-v.1.2.0

KIMOTO

イーサネット通信ソフト
FTPExtractor
取扱説明書

紀本電子工業株式会社

はじめに

FTPExtractor は、当社製の測定器、データロガの内蔵メモリ、および、PC カード（600 シリーズ）や内蔵ストレージ（700 シリーズ）に保存されているメッセージファイルやデータファイルを、イーサネット通信によってローカル PC に取り込むことができます。

また本プログラムは、当社の測定器、データロガは 10BASE-T（600 シリーズ）または、10/100BASE-T（700 シリーズ）の TCP/IP によるイーサネット通信をサポートしています。なお、600 シリーズの PC カードスロットは測定器側のオプション仕様となっております。

イーサネット通信のために、HUB とイーサネットケーブルが必要になります。HUB は 10/100BASE-T をサポートしているものを使用してください。また、測定器側に HUB が付属している場合は、新たに HUB を準備する必要はありません。

本書では、イーサネット通信のための設定方法を簡単に記述しています。

通信ができない時などは、ネットワーク管理者、もしくはネットワーク接続に詳しい方にご相談ください。

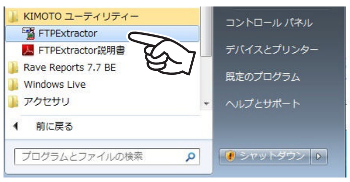
目次

1. インストール手順

FTPExtractor をインストールするために、インストーラである「FTPExtractor2.exe」を起動してください。インストーラは弊社ホームページから無料でダウンロードできます（5.4 章参照)。

FTPExtractor2.exe を起動するとウィザード画面が開きます。画面の表示に従って、インストール作業を行ってください。

インストール完了後は、FTPExtractor が登録され、Windows の「スタート」ボタンから「すべてのプログラム」→「KIMOTO ユーティリティー」と選択していくと、「FTPExtractor」を起動することが可能になっています。



2. ネットワーク接続の準備

弊社測定機器とPCのデータ通信はEtherNetを使用します。測定機器とPCをEtherNetケーブルで接続するだけで、簡単にデータを取得することが可能です。

通信に関する設定には管理者権限が必要な場合や、Windowsネットワークの知識が必要な場合があります。接続方法が不明な場合には、ネットワーク管理者、もしくはネットワーク接続に詳しい方にご相談ください。

2.1 PCの設定

FTPExtractorでデータ通信を行なうために、PCのEthernet通信の設定を行う必要があります。2005年12月以降の弊社製品であれば、全ての機器でIPアドレスの自動割り当て機能（DHCPサーバ）がついていますので、PC側はIPアドレス自動取得をするように設定してください。それ以前の機器では、PCのIPアドレスとサブネットマスクを手動で指定する必要があります。

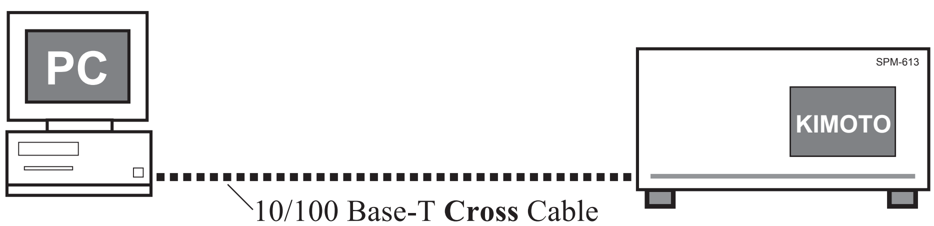
例）手動でIPアドレスとサブネットマスクを設定する場合の例
IPアドレス：192.168.0.10
サブネットマスク：255.255.255.0

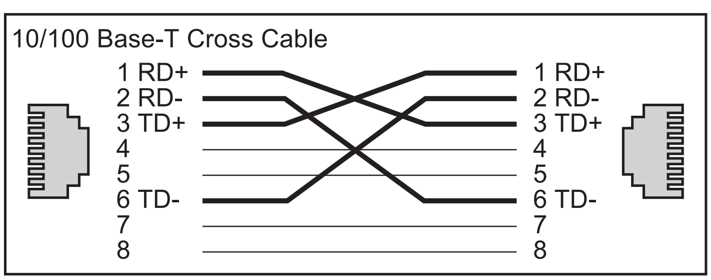
2.2 測定機器とPCの接続方法

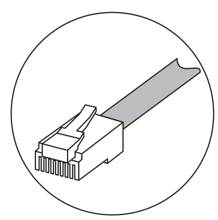
接続方法としては、クロスケーブルを用いた1対1通信とHUBを経由した1対多通信が可能です。

2.2.1　クロスケーブルを使用した方法

クロスケーブルを使用した接続方法です。PC側の仕様により、まれに通信できない場合がありますので、HUBを経由して接続することを推奨します。

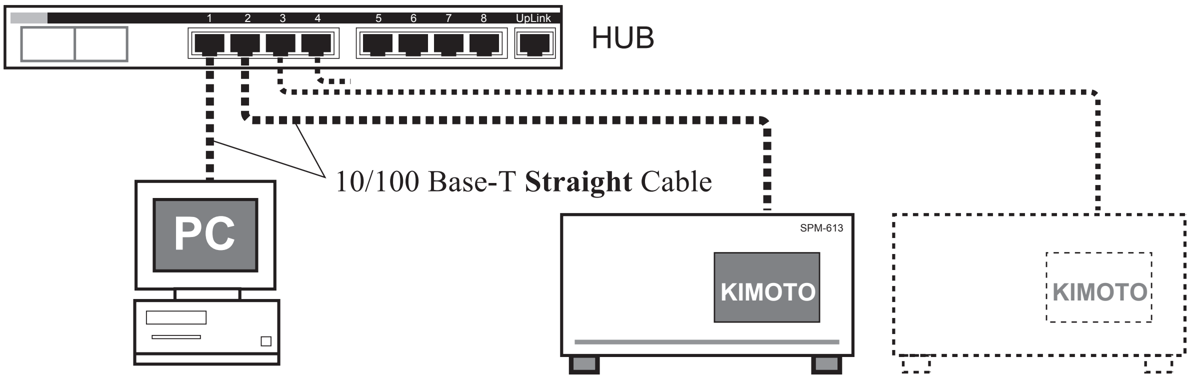


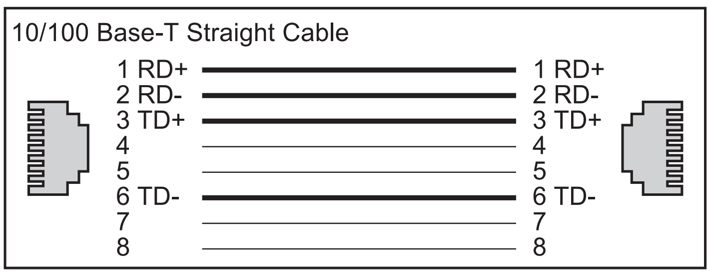




2.2.2　HUB を使用した方法

HUB を使用した接続方法です。この場合、ケーブルはストレートケーブルを使用してください。HUB を経由した接続の場合には、複数台の測定機器と同時通信が可能です。

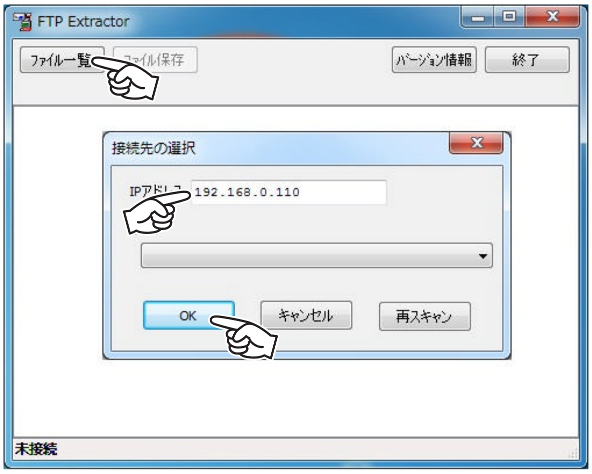




3. 操作方法

本プログラムは、測定器に内蔵されているメモリ、PC カード（オプション､600 シリーズ）や内蔵ストレージ（700 シリーズ）に保存されているメッセージファイルや、データファイルをネットワークを経由してローカルの PC に保存することができます。ネットワークの設定後、FTPExtractor を起動してください。

3.1 機器との接続



① FTPExtractor を起動するとメイン画面が表示されます。メイン画面左上の [ファイル一覧] ボタンをクリックすると「ターゲットのアドレス」ダイアログが表示されます。
IP アドレスは、手入力するほかに、プルダウンメニューをクリックすることで接続可能な計測器のリストを表示させせることができます。表示された中から接続したい計測器を選択すると、自動的に入力できます。

②接続されている測定器の IP アドレスを入力して、[OK] をクリックしてください。※）

③接続されている測定器に保存されているファイルの一覧が表示されます。[STORAGE] は測定器に付属されている PC カード（600 シリーズ）または内蔵ストレージ（700 シリーズ）の内容を表示しています。なお、PC カードスロットがサポートされていない測定器の場合は表示されません。

※）OS が Windows7、Windows　Vista の場合、[OK] ボタンを押したときに、[Windows セキュリティの重要な警告画面] が表示されることがあります。
全てにチェックをつけて、[アクセスを許可する] をクリックしてください。なお、アクセスを許可するには管理者権限が必要です。

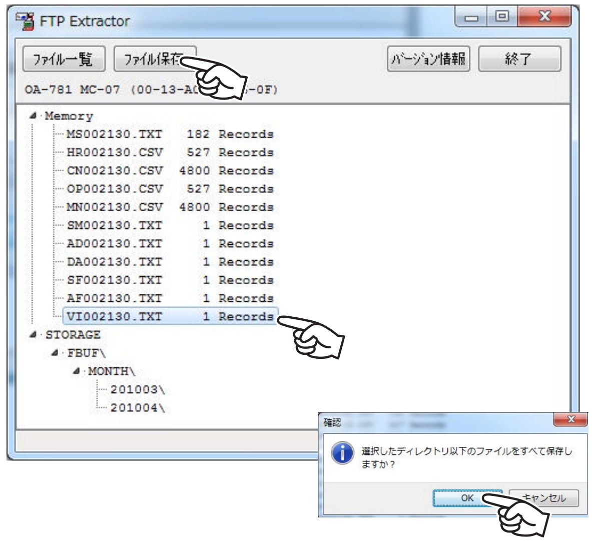
3.2 データダウンロード手順

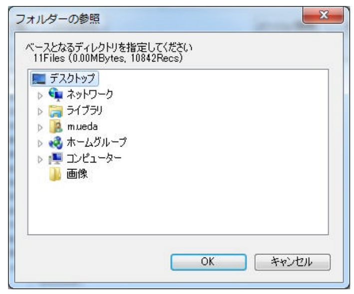
④保存したいファイルをクリックして選択し、メイン画面の [ファイル保存] ボタンをクリックすると、ファイル保存確認のダイアログが表示されますので、PC 側の保存先を指定してください。[OK] をクリックすると、測定器にあるファイルを PC にダウンロードを開始します。

データが別の階層にある場合、そのフォルダ名を表示項目の最後に「△」をつけて区別しています。この項目をダブルクリックすると「▲」が表示されますので、それをクリックするとその階層にあるデータが表示されます。これら別の階層に記録されたデータも同様にダウンロード可能です。

ファイル単位でもダウンロードできますが、特定のディレクトリ単位でもダウンロードできます。その場合はダウンロードしたいディレクトリを選択して、「ファイル保存」をクリックしてください。

⑤本プログラムを終了するときは、[終了] をクリックしてください。





4. 付録

4.1 代表的な測定器のアドレス例

データ収録装置	192.168.0.110
窒素酸化物自動測定器	192.168.0.120
オゾン自動計測器	192.168.0.130
二酸化硫黄自動計測器	192.168.0.140
浮遊粒子状物質自動計測器	192.168.0.150

IP アドレスは必ず各測定器のバージョン情報、もしくは通信ポートの設定で確認してください。詳しくは各測定器の取扱説明書を参照してください。

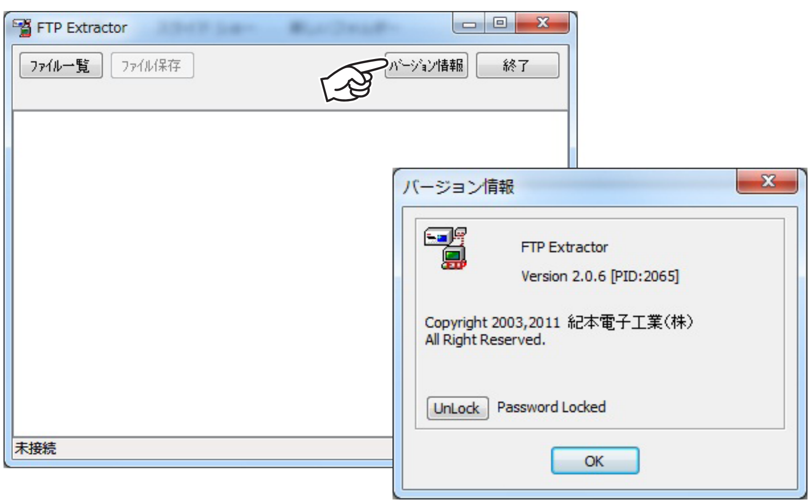
4.2 代表的な保存ファイル名

MSzzzhhh.TXT	メッセージファイル
HRzzzhhh.CSV	1 時間値ファイル
DFzzzhhh.TXT	DA 設定値ファイル
SFzzzhhh.TXT	システム設定値ファイル
AFzzzhhh.TXT	アプリケーション設定値ファイル

“zzzhhh” には IP アドレスのゾーンの値とホストの値で 3 桁の数字が入ります。
IP アドレスが　192.168.0.110　の場合、“MS000110.TXT” となります。

4.3　FTPExtractor のバージョン

FTPExtractor のバージョンは、画面右上の [バージョン] ボタンを押すことで、確認できます。



4.4 FTPExtractor の更新

FTPExtractor の最新バージョンは、以下のアドレスからダウンロードすることができます。お使いのバージョンが最新のものであるか定期的にご確認ください。

http://www.kimoto-electric.co.jp/support/index.html

本マニュアルは以下のバージョンのソフトウエアの取り扱いについて説明したものです。

PID 2065 Ver 2.0.6 以降

人・社会・自然の関わりをはかる

KIMOTO 紀本電子工業株式会社

本社・工場　大阪市天王寺区舟橋町3-1　〒543-0024
TEL:　06-6768-3401
FAX:　06-6764-7040
URL:　http://www.kimoto-electric.co.jp/
E-mail: sales@kimoto-electric.co.jp
東京営業所　東京都品川区南大井3-23-12 〒140-0013
TEL:　03-3761-8191
FAX:　03-3761-8294